

E 研究コース群

概要

このコース群は、一流の専門家を講師とし、争訟、審判決例、英文契約、英文明細書の校閲を受講生自ら課題に取り組む講義形式で行われます。Eコースは最高水準のコースで、Cコース群（中級）修了者またはそれに準ずる実力を有する方が、より高度な実力を養成するのに最適です。

尚、本コース群では、グループに分かれて演習を行います。

ご参考

下記コースの内容を一新し、ニーズの高い英文明細書校閲のコツのわかるコースとして生まれ変わります！

改編

E08 わかる！英文明細書校閲のコツ

好評臨時研修を新設コースとして定例コース化しました！

新設

E15 交渉学（極み）

集合型研修
東京開催

研修会場：一般社団法人日本知的財産協会

募集定員：24名

E01

特・実判決例の研究 (模擬裁判形式)

初回開催日の
2週間前まで申込可能です。
お申込みはこちらから！

※日本弁理士会継続研修対象コース

概要

特許係争に関する判例を題材として、模擬裁判形式により研究を進めるコースです。受講者がグループに分かれ、交代で原告、被告、裁判官役を担当し、講師が選定した判例を題材として模擬裁判を行います。従って、事前にグループごとに自主研修を行い、判例にこだわらない新しい主張を探し出し、争点を整理して訴状、答弁書などを作成する必要があります。

模擬裁判とその後の講師による講評、解説、質疑応答を通して特許明細書の読み方や技術的範囲の解釈が深まり、また特許訴訟における攻撃、防御、判断の方法を体験を通じて学ぶことができます。

第1回目は講師がオリエンテーションとして訴訟手続について講義をし、第2回目以降は受講者がグループごとに知恵を結集して攻撃防御を尽くしていくこととなります。特許訴訟が大きくクローズアップされている現代にふさわしいコースです。

開催日		講義科目	講師
6/11(金)	午後	オリエンテーション、事例選定	川田法律特許事務所 弁護士 川田 篤 氏
9/2(木)	午後	Bグループ原告の模擬裁判	アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士 早田 尚貴 氏
9/29(水)	午後	Eグループ原告の模擬裁判	LTE法律事務所 弁護士 橋口 尚幸 氏
10/28(木)	午後	Aグループ原告の模擬裁判	川田法律特許事務所 弁護士 川田 篤 氏
11/25(木)	午後	Dグループ原告の模擬裁判	アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士 早田 尚貴 氏
12/16(木)	午後	Gグループ原告の模擬裁判	LTE法律事務所 弁護士 橋口 尚幸 氏
1/20(木)	午後	Cグループ原告の模擬裁判	川田法律特許事務所 弁護士 川田 篤 氏
2/16(水)	午後	Fグループ原告の模擬裁判	アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士 早田 尚貴 氏

※受講生が少ない場合、グループ数、題材を減らして上記開催日の一部を自主研修日とさせていただきます。

申込みコード：E01-T1

集合型研修 大阪開催	研修会場：大阪 OMMビル 2F会議室 研修会場：一般社団法人日本知的財産協会 関西事務所	募集定員：20名
E01	特・実判決例の研究 (討論形式)	初回開催日の 2週間前まで申込可能です。 お申込みはこちらから！

※日本弁理士会継続研修対象コース

概要

このコースは、特許・実用新案に関連する実務経験者が、さらに高度な専門知識、および最近の判決動向に対応する考え方等を習得することを目的とします。

このコースの受講者は、いくつかのチームに分れ、特許・実用新案に関する審決取消訴訟または侵害訴訟など最近の判決例をチーム毎に自ら選定し、自主的に調査・研究を行いながらその判決における争点、問題点など法的解釈の論点を整理し、当事者の取るべき論法等を自主研修の中で導き出す全員参加型研究コースです。自主研修当日は一つのチームが議長団となり、他のチームが原告と被告を担当し、それぞれの立場で活発な論争を展開します。自主研修の後、講師による講評、判例解説および質疑応答を受けていただきます。従って、前記日程の他にチーム毎の事前検討を行う必要があります。

開催日		講義科目	講師
6/4(金)	午前	ガイダンス	岩坪総合法律事務所 弁護士 岩坪 哲 氏
	午後	オリエンテーション、テーマ選定	—————
7/14(水)	午前	自主研修 (Aチーム担当：A1テーマ)	—————
	午後	自主研修 (Bチーム担当：B1テーマ)	—————
8/19(木)	午前	A1講評	弁護士法人関西法律特許事務所 弁護士 井上 裕史 氏
	午後	B1講評	アスカ法律事務所 弁護士 岩谷 敏昭 氏
9/7(火)	午前	自主研修 (Cチーム担当：C1テーマ)	—————
	午後	自主研修 (Dチーム担当：D1テーマ)	—————
10/14(木)	午前	C1講評	小池総合法律事務所 弁護士 小池 眞一 氏
	午後	D1講評	岩坪総合法律事務所 弁護士 岩坪 哲 氏
11/8(月)	午前	自主研修 (Aチーム担当：A2テーマ)	—————
	午後	自主研修 (Bチーム担当：B2テーマ)	—————
12/14(火)	午前	A2講評	アスカ法律事務所 弁護士 岩谷 敏昭 氏
	午後	B2講評	弁護士法人関西法律特許事務所 弁護士 井上 裕史 氏
1/17(月)	午前	自主研修 (Cチーム担当：C2テーマ)	—————
	午後	自主研修 (Dチーム担当：D2テーマ)	—————
2/7(月)	午前	C2講評	岩坪総合法律事務所 弁護士 岩坪 哲 氏
	午後	D2講評	小池総合法律事務所 弁護士 小池 眞一 氏

集合型研修
東京開催

研修会場：一般社団法人日本知的財産協会

募集定員：24名

E05

英文契約における交渉と ドラフティング

初回開催日の
2週間前まで申込可能です。
お申込みはこちらから！

※日本弁理士会継続研修対象コース

概要

近年、ビジネスのグローバル化により国際企業間の提携が増加する傾向にあります。このような国際提携には契約締結が付きものであり、これに携わる実務者にとって、契約書ドラフティングに関する実務スキルを高めることや、相手企業との契約交渉が、ますます重要になってきています。

本研修は、①英文契約書のドラフティング実務に活かせる知識と実務スキルを習得して頂く事、②契約交渉の実践的なポイントを習得して頂く事、を目的とするもので、秘密保持契約、ライセンス契約、共同研究開発契約を主な題材として取り上げます。①契約ドラフティングでは、契約書の類型や実務ポイントの解説に加え、演習を通じて条文の意義、構成、ドラフティングのキーポイントを解説します。②契約交渉では、交渉の進め方の座学の後、具体的な模擬交渉を行い、実践ポイントを解説します。

本研修により、国内契約にも通ずる知識を学ぶことができますので、国内外の契約に直接または間接的に携わっておられる方々にお薦めいたします。

開催日		講義科目	講師		
7/5(月)	午前	ガイダンス・英文秘密保持契約のドラフティング	弁護士法人 イノベンティア 弁護士 飯島 歩 氏		
	午後	英文秘密保持契約のドラフティング			
9/6(月)	午前	英文ライセンス契約のドラフティング		生沼国際法律特許事務所 弁護士 生沼 寿彦 氏	
	午後	英文ライセンス契約のドラフティング			
12/9(木)	午前	英文共同研究開発契約のドラフティング			生沼国際法律特許事務所 弁護士 生沼 寿彦 氏
	午後	英文共同研究開発契約のドラフティング			
2/3(木)	午前	ライセンス契約交渉の実践ポイント	生沼国際法律特許事務所 弁護士 生沼 寿彦 氏		
	午後	ライセンス契約交渉の実践ポイント			

申込みコード：E05-T1

1～3回目は、全体ガイダンスに続き、秘密保持契約、契約ライセンス契約、共同研究開発、のそれぞれの契約について、背景、契約書の類型及び実務ポイントなどの講師による解説の後、グループ演習（問題条文の確認と修正等）と講師による解説等があります。

最終の4回目は、契約の中でも特にライセンス契約を題材に、契約交渉の進め方や交渉ポイントの説明などの講義の後、具体的な事例を用いたグループによる模擬交渉を行って頂き、最後に講師からの講評と解説を頂きます。

集合型研修
大阪開催

研修会場：一般社団法人日本知的財産協会 関西事務所

募集定員：20名

E05

英文契約における交渉と ドラフティング

初回開催日の
2週間前まで申込可能です。
お申込みはこちらから！

※日本弁理士会継続研修対象コース

概要

近年、ビジネスのグローバル化により国際企業間の提携が増加する傾向にあります。このような国際提携には契約締結が付きものであり、これに携わる実務者にとって、契約書ドラフティングに関する実務スキルを高めることや、相手企業との契約交渉が、ますます重要になってきています。

本研修は、①英文契約書のドラフティング実務に活かせる知識と実務スキルを習得して頂く事、②契約交渉の実践的なポイントを習得して頂く事、を目的とするもので、秘密保持契約、ライセンス契約、共同研究開発契約を主な題材として取り上げます。①契約ドラフティングでは、契約書の類型や実務ポイントの解説に加え、演習を通じて条文の意義、構成、ドラフティングのキーポイントを解説します。②契約交渉では、交渉の進め方の座学の後、具体的な模擬交渉を行い、実践ポイントを解説します。

本研修により、国内契約にも通ずる知識を学ぶことができますので、国内外の契約に直接または間接的に携わっておられる方々にお薦めいたします。

開催日		講義科目	講師	
6/15(火)	午前	ガイダンス	弁護士法人 イノベンティア 弁護士 飯島 歩 氏	
	午後	英文秘密保持契約のドラフティング		
8/30(月)	午前	英文ライセンス契約のドラフティング		
	午後	英文ライセンス契約のドラフティング		
11/30(火)	午前	英文共同研究開発契約のドラフティング		生沼国際法律特許事務所 弁護士 生沼 寿彦 氏
	午後	英文共同研究開発契約のドラフティング		
2/8(火)	午前	ライセンス契約交渉の実践ポイント		
	午後	ライセンス契約交渉の実践ポイント		

申込みコード：E05-K1

1～3回目は、全体ガイダンスに続き、秘密保持契約、契約ライセンス契約、共同研究開発、のそれぞれの契約について、背景、契約書の類型及び実務ポイントなどの講師による解説の後、グループ演習（問題条文の確認と修正等）と講師による解説等があります。

最終の4回目は、契約の中でも特にライセンス契約を題材に、契約交渉の進め方や交渉ポイントの説明などの講義の後、具体的な事例を用いたグループによる模擬交渉を行って頂き、最後に講師からの講評と解説を頂きます。

集合型研修
東京開催

研修会場：一般社団法人日本知的財産協会

募集定員：24名

E07

特許事例の研究（討論形式）

初回開催日の
2週間前まで申込可能です。
お申込みはこちらから！

※日本弁理士会継続研修対象コース

概要

特許法その他の知的財産法の理解には、実際の判例を検討することが欠かせません。しかし、日常的な知的財産法の勉強においては、教科書に紹介されている判例や、雑誌等に掲載されている判例解説を読むことはあっても、実際の判決文そのものをきちんと読むことは少ないと思われます。

本コースでは、特許法を中心とする知的財産法の重要論点を含む実際の判決文を題材として、当事者がどのような観点から主張を行っているのか、何が問題となるのか、裁判所がどのような考慮の下で結論を出しているか等について、講師と受講者とを含めた討論を行い、判例の理解をより深いものにするとともに、訴訟の経過を振り返ることにより、実際の訴訟においてどのような攻撃防御がなされ、それがどのような影響を持つかなど、理解することができます。

開催日		講義科目	講師
6/14(月)	午後	・知財訴訟の概要と次回課題配布	窪田法律事務所 弁護士 中岡 起代子 氏
7/14(水)	午後		
9/16(木)	午後		
10/20(水)	午後	・課題のグループ討議	
11/17(水)	午後	・グループ発表	
12/15(水)	午後	・全体討議	
1/13(木)	午後	・次回課題配布	
2/25(金)	午後		

申込みコード：E07-T1

1 回目は、判例研究をするにあたってのガイダンスとして、知財訴訟がどのように進められているか、また当事者はどのような点を中心に論理を組み立てているか、といった点について講師から講義形式の解説があります。

2 回目以降は、講師が選んだ判決文を事前に各自検討したうえで、受講者をグループに分け、各グループ毎の討議、さらには講師を交えた全体討議を行います。受講者は、このような討議において積極的に発言し、質問を発するなどして、問題となる論点についてより深い理解をすることが可能となります。

E8コース わかる！英文明細書校閲のコツ

E8コースは、一昨年度までの「英文明細書の書き方」講座に代わるコースであり、近年ニーズが高まっている「日本語明細書の翻訳英文明細書の校閲」を正確かつ効率的に行う実力を養うことを目標としております。また企業知財部では、拒絶理由通知に対する代理人作成の応答をレビューする機会が多いと想定されますので、この点もしっかり学んで頂きます。

主要外国特許に関する知識を習得された方を対象に、「電気・機械」と「化学」に分かれ、それぞれ演習形式で研修を行います。

集合型研修 大阪開催	研修会場：一般社団法人日本知的財産協会関西事務所	募集定員：20名
E08	わかる！ 英文明細書校閲のコツ	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="background-color: red; color: white; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;"> 改 編 </div> <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; font-size: 10pt;"> 初回開催日の 2週間前まで申込可能です。 お申込みはこちらから！ </div> </div>

概要

※電機・機械分野と化学分野の2つに分かれ、別教室での受講となります。

英文明細書の基礎的事項、校閲の際のチェックポイントの講義を受けていただき、英文明細書の作成や翻訳英文明細書の校閲の演習、またオフィスアクションへの対応演習を通じて、これらの能力の向上を図って頂きます。加えて翻訳しやすい和文明細書のポイント、オフィスアクションに対する基本的な対応なども学んでいただきます。

演習では各自が課題に取り組み、グループディスカッションを行います。その結果をグループ単位で発表し、討議した後に講評を行います。

受講生自身が課題に取り組み、議論を通じて学べる大変有意義な研修です。

開催日		講義科目	講師
6/22(火)	午後	1.英文明細書作成の基礎知識	【電気・機械】 Studebaker Brackett PC 米国弁護士 矢部 達雄 氏 (講義1～3, 7, 8) 安富特許事務所 弁理士 佐々木達也 氏 (講義4～6)
8/3(火)	午後	2.英文明細書作成演習 グループ演習Ⅰ (その1)	
9/14(火)	午後	3.英文明細書作成演習 グループ演習Ⅰ (その2)	
10/19(火)	午後	4.英文明細書校閲のチェックポイント	
11/25(木)	午後	5.翻訳英文明細書の校閲演習 グループ演習Ⅱ (その1)	【化学】 青山特許事務所 弁理士 呉 英燦 氏 (講義1～8)
12/16(木)	午後	6.翻訳英文明細書の校閲演習 グループ演習Ⅱ (その2)	
1/27(木)	午後	7.オフィスアクションに対する基礎的な対応演習 (その1)	
2/15(火)	午後	8.オフィスアクションに対する基礎的な対応演習 (その2)	

申込みコード：E80-K1

1.英文明細書作成の基礎知識

英文明細書作成に際して必要となる記載要件を説明する。

2.英文明細書作成演習 グループ演習Ⅰ（その1）

グループ分けを行い、各グループにて演習用の和文明細書から分担して英文明細書を作成する。
講師は補講およびグループ演習に関する講義を行う。

3.英文明細書作成演習 グループ演習Ⅰ（その2）

作成した英文明細書およびグループで抱いた疑問点等を各グループが発表し、その後講師より講評および解説を行う。

4.英文明細書校閲のチェックポイント

翻訳英文明細書の校閲の際のポイントを解説する。

5.翻訳英文明細書の校閲演習 グループ演習Ⅱ（その1）

各グループにて和文明細書および翻訳英文明細書を用いて校閲の演習を行う。
講師は補講およびグループ演習に関する講義を行う。

6.翻訳英文明細書の校閲演習 グループ演習Ⅱ（その2）

校閲結果を各グループが発表し、その後講師より講評および解説を行う。
また、翻訳しやすい和文明細書を作成するうえでの留意点を解説する。

7.オフィスアクションに対する基礎的な対応演習（その1）

オフィスアクションへの対応の基本を講義、演習を通じて解説する。

8.オフィスアクションに対する基礎的な対応演習（その2）

オフィスアクションへの対応の基本を講義、演習を通じて解説する。

集合型研修
東京開催

研修会場：一般社団法人日本知的財産協会

募集定員：24名

E8B

わかる！
英文明細書校閲のコツ
(電気・ソフトウェア)

初回開催日の
2週間前まで申込可能です。
お申込みはこちらから！

※日本弁理士会継続研修対象コース

概要

電気・ソフトウェア分野を中心として、外国出願のための明細書及びクレームの英文翻訳に対する校閲の実務スキルを、講義並びに演習を通じて学んで頂くことを主目的とした、全8回からなる通年のコースです。和文明細書の翻訳をどのようにチェック・修正すれば良いかを、体系的且つ事例を通じて学んで頂きます。その上で演習問題に取り組んで頂き、英文明細書翻訳の校閲の実務スキルをつけて頂きます。

また、オフィスアクションへの応答に関する基礎的な知識を身に付けて頂くための解説と簡単な演習も行います。

開催日		講義科目	講師
6/22(火)	午後	1. ガイダンス及び英文明細書の基礎知識 (その1)	特許業務法人 志賀国際特許事務所 弁理士 清水 雄一郎 氏 弁理士 古都 智 氏 萩原 昌明 氏
7/15(木)	午後	2. 英文明細書の基礎知識 (その2)	
8/26(木)	午後	3. 英文明細書のチェックポイントと校閲演習 (その1)	
10/15(金)	午後	4. 英文明細書のチェックポイントと校閲演習 (その2)	
11/12(金)	午後	5. 英文明細書のチェックポイントと校閲演習 (その3)	
12/17(金)	午後	6. 翻訳しやすい和文明細書のポイントと和文明細書の校閲演習	
1/14(金)	午後	7. オフィスアクションへの応答に関する基礎的な知識と演習	
2/17(木)	午後	8. 宿題に対する解説/総括	

申込みコード：E8B-T1

1. ガイダンス及び英文明細書の基礎知識 (その1)

「英文明細書の基礎知識」について講義を行います。

2. 英文明細書の基礎知識 (その2)

「英文明細書の基礎知識」について講義を行います。

3.英文明細書のチェックポイントと校閲演習（その1）

「英文明細書のチェックポイント」について、講義及び校閲演習を行います。

4.英文明細書のチェックポイントと校閲演習（その2）

「英文明細書のチェックポイント」について、講義及び校閲演習を行います。

5.英文明細書のチェックポイントと校閲演習（その3）

「英文明細書のチェックポイント」について、講義及び校閲演習を行います。

6.翻訳しやすい和文明細書のポイントと和文明細書校閲演習

「翻訳しやすい和文明細書のポイント」について講義及び校閲演習を行います。

7.オフィスアクションへの応答に関する基礎的な知識と演習

「米国オフィスアクションへの対応の基礎的知識」について講義及び演習を行います。

8.宿題に対する解説/総括

「宿題」に対する解説を行います。その後、Q&A形式でセミナーの総括を行います。

集合型研修
東京開催

研修会場：一般社団法人日本知的財産協会

募集定員：24名

E8C

わかる！
英文明細書校閲のコツ（機械）

初回開催日の
2週間前まで申込可能です。
お申込みはこちらから！

※日本弁理士会継続研修対象コース

概要

機械分野を中心として、外国出願のための明細書及びクレームの英文翻訳に対する校閲の実務スキルを、講義並びに演習を通じて学んで頂くことを主目的とした、全8回からなる通年のコースです。和文明細書の翻訳をどのようにチェック・修正すれば良いかを、体系的かつ事例を通じて学んで頂きます。その上で演習問題に取り組んで頂き、英文明細書翻訳の校閲の実務スキルをつけて頂きます。また、オフィスアクションへの応答に関する基礎的な知識を身に付けて頂くための解説と簡単な演習も行います。

開催日		講義科目	講師
6/1(火)	午後	1. ガイダンス及び英文明細書の基礎知識（その1）	特許業務法人 志賀国際特許事務所 弁理士 橋本 宏之 氏 弁理士 宮本 龍 氏 児玉 恩 氏 萩原 昌明 氏
7/20(火)	午後	2. 英文明細書の基礎知識（その2）	
9/7(火)	午後	3. 英文明細書のチェックポイントと校閲演習（その1）	
10/12(火)	午後	4. 英文明細書のチェックポイントと校閲演習（その2）	
11/9(火)	午後	5. 英文明細書のチェックポイントと校閲演習（その3）	
12/14(火)	午後	6. 翻訳しやすい和文明細書のポイントと和文明細書の校閲演習	
1/11(火)	午後	7. オフィスアクションへの応答に関する基礎的な知識と演習	
2/15(火)	午後	8. 宿題に対する解説/総括	

申込みコード：E8C-T1

1. ガイダンス及び英文明細書の基礎知識（その1）

「英文明細書の基礎知識」について講義を行います。

2. 英文明細書の基礎知識（その2）

「英文明細書の基礎知識」について講義を行います。

3. 英文明細書のチェックポイントと校閲演習（その1）

「英文明細書のチェックポイント」について、講義及び校閲演習を行います。

4. 英文明細書のチェックポイントと校閲演習（その2）

「英文明細書のチェックポイント」について、講義及び校閲演習を行います。

5. 英文明細書のチェックポイントと校閲演習（その3）

「英文明細書のチェックポイント」について、講義及び校閲演習を行います。

6. 翻訳しやすい和文明細書のポイントと和文明細書校閲演習

「翻訳しやすい和文明細書のポイント」について講義及び校閲演習を行います。

7. オフィスアクションへの応答に関する基礎的な知識と演習

「米国オフィスアクションへの対応の基礎的知識」について講義及び演習を行います。

8. 宿題に対する解説/総括

「宿題」に対する解説を行います。その後、Q&A形式でセミナーの総括を行います。

集合型研修 東京開催	研修会場：飯田橋レインボービル	募集定員：24名
E15	交渉学（極み）	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px; color: white; font-weight: bold;">新設</div> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; font-size: 0.8em; color: white;"> 初回開催日の 2週間前まで申込可能です。 お申込みはこちらから！ </div> </div>

概要

本コースは、会社や組織そして事業部門などを先導するリーダーにとって必須となる交渉力の強化を目指します。

この研修では、ビジネスリーダーや、組織でリーダーシップを発揮することを求められる人材に必要な、困難な場面でのしたたかな対話・交渉力について学びます。たとえば、複雑な利害関係者が錯綜するような交渉場面において、①論理的かつ合理的に自社の利益を最大化するための交渉手法、②交渉における適切な説得技法（レトリック）の活用及び交渉相手による詭弁への対処法、③説得に必要な交渉シナリオの策定方法、④交渉において避けて通れない意思決定（決断）のマネジメントの手法、についてディスカッション、模擬交渉演習を通じて体験的に学習します。

座学での理解に止まらず、体験学習によって学習内容を体感し、より深く理解することができるというのがこの研修の特徴で、社内外で「対話力」を駆使し、リーダーシップを発揮できる人材を育成するための「協働型リーダーシップ研修」です。また、演習の中には「知財」が関連するM&A、事業提携の事例を取り入れ、グループディスカッション（交渉）していただきます。経営者、知財責任者、部門長などリーダーとしての対話力、対外的な交渉・折衝能力を磨きたい方は奮ってご参加ください。

開催日		講義科目	講師
2/25(金)	午前	1.対話による協働型リーダーシップ研修	東京富士大学 教授 隅田 浩司 氏
	午後	対話による協働型リーダーシップ研修	

申込みコード：E15-T1

1. 対話による協働型リーダーシップ研修

1.交渉力を支える7つの原則・説得の技術・コンフリクト・マネジメント

午後のロールプレイに活かせるよう、他の会社等と交渉を行う際に注意すべき点や交渉時の原則についての解説を行います。また、契約者双方における対立を踏まえ、対立してる双方にwin-winの効果をもたらすことが出来るための考え方や技術についても解説を行います。

2.【演習Ⅰ】グループディスカッション

3.【演習Ⅱ】グループディスカッション（知財が関係する事例）

午前中に受講した内容を実践する場として、交渉事例をもとに、契約者双方に分かれて模擬交渉を行います。

受講生に実際の交渉事例に基づいた事例を示した資料を配布し、契約者ごとに参加者同士でグループディスカッションを行い、どのように交渉を進めてくのかを討議したうえで、契約相手先のグループとロールプレイを行います。グループディスカッション、ロールプレイを通じて各グループごとの交渉内容を講師が順次確認し、後ほど講師より解説を行います。

なお、模擬交渉の題材は、知財が関係するものとししないものの2題を予定しています。

他の受講生とのグループディスカッションを通じ、新たな考え方等を得ることができます。